

ボランティア活動報告 2016

『BRONZE 道心 市民コンサート in 名取』

日時 2016年9月3日(土)

場所:尚綱学院大学 多目的ホール

秋田由利本荘市を拠点に活動を行ない、震災後は精力的に名取市をはじめ東北各地の被災地での演奏活動を続けている「BRONZE 道心」の皆さんが、9月3日に尚綱学院大学でライブを行いました。会場には、名取市内の仮設住宅等で生活される住民の皆さんや、BRONZE のファンの皆さんが集まりました。

太鼓や琴といった和楽器と、ギター、ベース、サックス、シンセサイザーなど様々な音色が織りなす楽曲は、非常に迫力があります。「聴いている人へ届けたい！」という思いがこもったパワー溢れる演奏が続き、そのパワーに圧倒されて、会場の熱気もどんどん高まっていきました！



その熱気が最も高まった頃、「名取風来」が演奏されました。この曲は BRONZE のオリジナル曲を元に、名取復興応援バージョンとして作成されたものです。仮設住宅で生活する皆さんとの交流の中から生まれ、歌詞も共に考えたものだそうです。

今回は歌い手として、尚綱学院大学が仮設住宅で開催しているカラオケ教室で講師を務める阿部滋子先生、ボランティアチーム TASKI の学生、職員の 3 名が参加しました。また愛島東部仮設住宅のダンスチーム「愛島ダンサーズ」が踊りで華を添え、会場が一体となりました。



さらにダンスでも TASKI の学生がコラボレーション！こちらも非常に大きな盛り上がりを見せました！このコラボがきっかけとなり、2016年12月に秋田県由利本荘市で行われた BRONZE のステージに、学生がダンスで参加することになりました。

尚綱学院大学ボランティアチーム TASKI は、ダンスや歌での参加に加えて、コンサートの会場準備、運営面をサポートしながら住民の皆さんと一緒に交流し、コンサートを楽しみました。



【学生の感想】

私は、今回 BRONZE さんのライブで、学生スタッフとしてボランティアに参加させていただきました。これまで数回ボランティア活動に参加し、仮設住宅の住民の皆さんと交流してきましたのですが、今回初めて、仮設住宅ふれあいサロンのカラオケの先生である阿部先生と、職員の方と共にステージで歌いました。この経験を通じ、どうしたら皆さんに楽しんでもらえるのか、ということを考えることができました。今後の学校生活の中でもその考えを忘れずに行動していきたいと思いました。

(環境構想学科 1年 N.O.)

フォトスナップ

